

# 十月

かななづき  
神無月

「りんごのひとりごと」

作詞 武内俊子・作曲 河村光陽

私は真赤なりんごです  
お国は寒い北の国  
りんご畑の噴れた日に  
箱につめられ 汽車ポッポ  
町の市場へ つきました  
りんごりんごりんご  
りんご 可愛いひとりごと  
くだもの店の おじさんに  
お顔をきれいに みがかれて  
皆んなならんだ お店先  
責いお空を 見るたびに  
りんご畑を 思い出す  
りんごりんごりんご  
りんご 可愛いひとりごと  
今頃どうして いるかしら  
りんご畑の お爺さん  
箱にりんごを つめながら  
歌をうたって いるかしら  
煙草ふかして いるかしら  
りんごりんごりんご  
りんご 可愛いひとりごと

\*昭和十四年に作詞され、昭和十五年二月に作曲されました。

日	月	火	水	木	金	土
31					1	2
3	4	5	6	7	8 寒露 陰寒の気に合って 露むすび凝らんとすれば也	9
10 馬頭琴 コンサート 18:30開場 19:00開演 アトリエにて	11 ⑪ 体育の日	12	13	14	15	16
17	18	19	20 十三夜 弁当の日 10:00~15:00 アトリエにて	21 石釜の日 10:00~15:00 アトリエにて	22	23 霜降
24 MORI・ねっと イベント 「芋堀と火おこし 体験会」	25 つゆが陰気に結ばれて 霜となりて降るゆえ也	26	27	28	29	30

今月の覚書き